

## 法研論集第134号寄稿原稿一覧

| 氏 名                | 学 年      | 論 文 題 目   |
|--------------------|----------|---|
| 野村 健太郎             | 博士後期課程1年 | 量刑事情の選別と行為責任主義  |
| 亀岡 鈺平              | 博士後期課程2年 | 食料・農業・農村基本法の問題点(4・完)<br>—立法過程からの考察—                                       |
| 種村 佑介<br>(優先掲載希望者) | 博士後期課程2年 | 「不法行為のプロパー・ロー」理論とコモン・ロー上の例外(1)  |
| 田川 靖紘              | 博士後期課程2年 | 企業・組織内犯罪における正犯と共犯の区別(2・完)   |
| 尋木 真也              | 博士後期課程2年 | 慣習国際人道法における敵対武装集団の位置づけ  |
| 松田 正照              | 博士後期課程2年 | 引致原則とマクナブ・マロリー・ルール  |
| 金 セイ               | 博士後期課程3年 | 日本における企業集団内部統制の構築実態からみた企業グループの経営<br>—有価証券報告書の企業集団内部統制に対する分析を通じて—          |
| 李 艶紅               | 博士後期課程3年 | 「黄金株 (A Golden Share) 」の創出とその展開(1)<br>～1980年代イギリスでの誕生と1990年代EUでの利用拡大を中心に～ |
| 千國 亮介              | 博士後期課程3年 | 人権とその制約原理について(4・完)  |
| 東海 裕之<br>(優先掲載希望者) | 博士後期課程4年 | イギリスにおける中間利息割引率の設定(2・完)   |
| 熊 潔                | 博士後期課程4年 | ニューヨーク州における証券規制—MARTIN法   |
| 権 奇法               | 博士後期課程4年 | 「公の施設」管理の外部化(2・完)<br>—指定管理者制度を素材として—                                      |
| 張 睿暎               | 博士後期課程5年 | フェアユース (Fair use) 規定導入の議論とその限界<br>—韓国における議論を中心に—                          |
| 趙 京喜<br>(優先掲載希望者)  | 博士後期課程5年 | 韓国商標法における新しいタイプの商標 (非典型商標) の保護(1)   |
| 藤原 究               | 博士後期課程6年 | 宗教団体制の発展と展開   |
| 大久保 優也             | 博士後期課程6年 | アメリカ憲法のひとつの「基層」(1)<br>—ジョセフ・ストーリーとアメリカ法形成期におけるコモン・ローと憲法の位置                |